

令和5年度 第5回 小平市公民館運営審議会 会議要録

1 開催日時

令和6年1月9日(火)午後2時から午後4時まで

2 開催場所

小平市中央公民館 講座室2

3 出席者

小平市公民館運営審議会委員 11名(オンライン参加者2名含む) 欠席1名
事務局 中央公民館長、館長補佐兼事業担当係長、管理担当係長、分館担当係長7名
(欠席2名)

4 傍聴者

1名

5 配布資料

- 資料1 令和5年度福祉のまちづくり功労者に対する知事感謝状の贈呈について
- 資料2 令和5年度小平市公民館定期講座実施状況表
- 資料3 令和6年度公民館事業計画の概要(案)
- 資料4 第60回東京都公民館研究大会参加者一覧(小平市)

6 議事

(1) 館長報告

(2) 令和5年度公民館定期講座等実施状況について(令和6年1月9日時点)

(3) 令和5年度東京都公民館連絡協議会関連について

- ・館長部会
- ・職員部会
- ・委員部会

(4) 令和6年度公民館事業計画の概要(案)について

(5) その他

(以下、小平市公民館運営審議会は公運審、東京都公民館運営審議会は都公連という。)

会議の概要

議事(1)館長報告

- ・ みんなでつくる音楽祭 in 小平 2023 実施状況

今年度は12月2日(土)に開催した。出演団体が46団体、実行委員・ボランティアの40人を含めて850人の参加があった。また、ブリヂストンのイノベーションギャラリーでライブ配信や、YouTube配信が行われ、223人の視聴があった。

- ・ 福祉のまちづくり功労者に対する知事感謝状の贈呈について
資料1に基づき、説明する。
- ・ 公共施設マネジメント関連
開催する説明会を案内する。

(意見及び質疑応答)

なし

議事(2)令和5年度公民館定期講座等実施状況について(令和6年1月9日時点)

資料2に基づき、各館から説明する。

- ・ 中央公民館「健康づくり講座(低山歩きの始め方～絶景を楽しむ日帰り山さんぽ～)」「憲法講座(子どもの人権について考える)」
- ・ 小川公民館「シニア講座(シニアから始める筋力アップ)」
- ・ 花小金井北公民館「子育て支援講座(ホトリボンアート)」
- ・ 上宿公民館「文化教養講座(健康マーじゃん教室)」
- ・ 上水南公民館「防災生活安全講座(地域のつながりで防災力UP)」
- ・ 小川西町公民館「文化教養講座(スマホで楽しむカメラ術)」
- ・ 花小金井南公民館「防災生活安全講座(自分の身を守るための防災への備え)」
- ・ 仲町公民館「防災生活安全講座(なかまちテラス生活安全週間)」
- ・ 津田公民館「健康づくり講座(ヨガの呼吸法を毎日の習慣に)」
- ・ 大沼公民館「ジュニア講座(星空観察と星座早見盤工作・星座早見盤を使ってみよう)」
- ・ 鈴木公民館「健康づくり講座(セルフケア基礎講座で元気に機能改善)」

(意見及び質疑応答)

田尻委員

「地域支援講座(介護をしながら心も体もいきいき暮らすための講座)、(吃音って、何だろう?)、(共生社会に向けて知的障がいを学ぶ)」について、定員に対して応募が少ないが、事情があつて応募できなかったことも考えられる。受講者数が少なくても各公民館で年に1回は開催してほしい。障がい者は地域に戻す動きがあるが、どのように接したらいいかわからないという問題を解決するためにも、このような講座は継続して開催してほしい。

事務局（館長補佐）

周知には苦勞しているため、やり方を工夫する必要があるが、講座の開催を継続していきたい。

堀内委員

「地域学習（高校生事業企画委員会企画）」について、市報で募集していないが高校生が参加していたのか。

事務局（館長補佐）

飲食や火を使う講座のため、参加の対象を一般の中学生以下などまで拡大すると、安全面や飲食のアレルギーなど安全管理が多岐に渡るため、地元のボーイスカウトや高校生に限定した。今後は一般の子どもたちも参加できるように検討していきたい。

細江委員

講座に携わったが、色々な高校からの参加があり、団員や家族が 150 人程度参加していて良い取り組みだった。今後も継続して行ってほしい。

堀内委員

評判の良い講座だったようなので、レポート等で講座の開催結果を周知していけると良いと思う。

多田委員

花小金井北公民館の講座について、「ホトリボンアート」という言葉を初めて聞いたので興味を持った。

花小金井北公民館と上水南公民館で永田珈琲の店主が講師として登壇している。講師は、飲み物について、熱く話をされたと聞いたので興味がある。講座は、どのような内容だったのか。

事務局（上水南分館長）

おいしい飲み物の講座のため、珈琲を 2 回、紅茶を 2 回、中国茶を 1 回行った。サークル化に向けて現在検討している。

細江委員

小平市は永田珈琲や鈴木園等の飲み物に詳しい地域の人が身近にいるので講師の人材に恵まれている。東日本大震災のときには、永田珈琲の方が道具を全て持参し、石巻の避難所で珈琲を淹れた。レトルト食品等を食べていた被災者の方が大変喜ばれた。

会長

鈴木花カフェという講座が開催されたことがあり、サークル化をして、社会福祉協議会と連携しながら、今日まで活動を継続している実績もある。

海老名委員

花小金井南公民館「地域支援講座（日本語ボランティア基礎講座）」に参加した。市内で実施されている外国人に対する日本語講座についての資料には、小平市内の外国人の比率は2.7%と比較的高いことや、そのうちの24%が韓国や中国以外の国の方であること、支援団体が6団体（公民館で5団体、地域センターで1団体）いることが記載されていた。外国籍の方の悩みは、言語に起因することが多いと思われる。困っている外国人に対して、公民館としてまとまった動きをして対応するという流れになっていくと良いと思う。

事務局（館長補佐）

花小金井南公民館の団体の方から、支援をする日本人が不足しているという問題が挙げられたため、急遽開催をした講座である。小川西町公民館でも同様の問題があるため、来年度実施をする予定である。今後の開催の方法も検討していきたい。

事務局（館長）

地域課題が様々あり、各館の問題ではなく、公民館全体で地域にあった取り組みができるように努めていきたい。

堀内委員

大沼公民館の「地域支援講座（大人のための「図工」授業・切り絵を作ってみよう）」は目を引くタイトルで興味を持った。このように目を引くタイトルにすることは良いと思う。

事務局（大沼分館長）

事業企画委員から挙げられたタイトルを基にした。内容に応じて適宜、修正している。

久米委員

サークル化について、大沼公民館や小川西町公民館はあまり実現できていない印象がある。サークル化をするにあたって弊害等があるならば教えてほしい。

事務局（大沼分館長）

事業企画委員から挙げられる講座は、回数の少ない講座が多く苦慮している。また、サークル化の中心人物になる方が乏しいことや、サークル化にする気風が希薄していることが原因と考えられる。今後、サークル化の実現に向けた工夫に努めていきたい。

事務局（小川西町分館長）

「文化教養講座（和布を使ってあなただけのつるし飾りを作りましょう）」は、サークル化が実現している。また、まだ終了していない講座にサークル化の気風がある。

講座の回数が少ないことがサークル化の実現できない要因の一つに挙げられるが、回数を増やすと参加者が少なくなる傾向がある。今後、講座の内容や回数について工夫に努めていきたい。

事務局（館長）

サークル化が実現した数は、少しずつ増えてきている。今年度は20の講座で実現しており、昨年度よりも増加した。

以前の子育て支援講座は、同じ悩みを抱えた方が集まりサークル化しやすかったが、一般の社会的な状況により復職などによりサークル化できないような状況の背景が考えられる。また、講師の都合でサークル化に至らないこともある。全館でサークル化に向けて、引き続き取り組んでいきたい。

久米委員

サークル化に向け、講師の謝礼を公民館で支援することを検討しているか。

事務局（館長）

公民館は、市民が自発的に活動することを支えることを基本としているため、金銭的な援助は予定していない。

久米委員

参加費は1人2千円の金額設定がずっと続いている。物価高騰等、当初と事情が変わっているので、設定金額の変更を検討してはどうか。

事務局（館長）

物価高騰は確かにあると理解している。総合的に判断をして今後金額については検討していきたい。

会長

花小金井南公民館「文化教養講座（夏目漱石と草枕）」のサークル化が実現した経緯を教えてください。

事務局（館長補佐）

事業企画委員の委員長から文化教養講座に力を入れたいと話があった。事業企画委員の役員と受講者でサークル化に必要なことを議論してもらったことで実現した。今後の支援は、市民奨励学級のようにサークルが自主的に講座を企画する場を提供していくことを検

討している。

海老名委員

サークル化の目標数値を設定して達成の有無を分かりやすくするのも良いが、行き詰ってしまうことが考えられる。既存のサークルの特性・関係等も考えながらサークル化するのはどうか。サークル化だけでなく、公民館全体でプロモーションできることを考えて内容を充実させていくと良いと思う。

事務局（館長）

事業企画委員会で企画された講座で、どの程度サークル化ができるか定めた目標数値を基に行政評価を行っている。公民館の事業計画でもネットワークづくりの促進や、サークル化後に学習活動の成果を地域に還元し、他の地域の学習の助けになるような循環の構築を目標にしている。今後も目標に向けて進めていきたい。

議事(3) 令和5年度東京都公民館連絡協議会関連について

- ・館長部会

都公連役員会について、事務局（館長）から説明する。

- ・職員部会

研究大会の活動状況について、事務局（花小金井北分館長）から説明する。

- ・委員部会

開催する課題別集会について、鈴木委員から説明する。

（意見及び質疑応答）

なし

議事(4) 令和6年度公民館事業計画の概要（案）について

資料3に基づき、事務局（館長補佐）から説明する。

（意見及び質疑応答）

古家委員

推進事項13について、今後具体的に計画されてくると思われるが、最後の方にあるのは付け加えたような気がするが、重要な点だと思う。今後の公民館をどうするか考えないといけないので初めにある方が良いと思うが、どうか。

館長

公民館が継続して関わっていくことを伝えるようにしたいと思う。

市長部局との情報共有を行いつつ公民館と利用者が同じ認識で考えられるようにしたい意図で記載しているので、表現の仕方を再度検討していきたい。

古家委員

小平市立小平第十一小学校の複合化の話し合いに参加しているが、公民館と小学校の利用者が合同で話し合いをする場は設けられていない気がする。複合化する施設の利用者が各役割を把握していないと、建物だけ一緒になっただけになってしまうのではないかと心配である。

これから利用者になる人もどんな施設なのかを知らないといけないのでは。

会長

公開で説明会の開催やチラシの配布等による広報も広く行われている。今後もそのように行われていくのではないかと。

事務局（館長）

引き続きの利用者への理解を深める機会が必要である。複合化する施設の利用者が一体で検討する必要があるため、花小金井北公民館のサークルに小学校と一緒に活動してもらい、学校や学校関係者と相互に交流する機会を検討している。

古家委員

小川西町公民館でも各施設の役割を共有してやっていけたら良いと思う。

事務局（館長）

小川西町公民館でも地域の人と話し合うプログラムを準備している。そのような機会の提供は今後も継続してやっていきたい。

会長

推進事項の掲載順に比重があるわけではないと思う。共通の認識を事務局にも持ってほしい。

長澤委員

部屋の共用化・多目的化することで現在の公民館の機能を維持できるのか心配している。部屋の共用化・多目的化と運営体制は深く関係していて重要な問題であるため、どう進めていくかが大切である。国立市では館長からの諮問があるが、小平市は公運審に諮問をしないのか疑問に思う。

推進事項 13、14 に公民館運営審議会という文言を入れないのか疑問を持った。推進事項 14 は重要な課題なので、館長から諮問をしてもらい、公運審で答申をする関係を作ることが公民館の活性化につながるのではないかと。

事務局（館長）

諮問については今後検討していきたい。本審議会の名称を入れるか等の表現の仕方についても今後検討したい。

細江委員

推進事項 13 に公民館が社会教育の場であり、委員会を通して長年培った歴史がある等の文言を入れても良いと思う。市民と一緒に活動をしてきたことを盛り込んで内容に重みを持たせてはどうか。

久米委員

複合化に向けて公民館のメリットをもう少し具体的に記載することでデメリットも見えてくると思う。これからの公民館や複合施設の在り方に重点を置いたらどうか。

事務局（館長）

複合化した施設がまだないので、各館が独立していることを前提に作成している。今後複合化した際にいただいた意見は重要になるので盛り込んでいきたい。

多世代の公民館づくりを期待されていると思われるので今後も検討していきたい。

議事(5)その他

資料 4 に基づき事務局（管理担当係長）より説明する。

※本審議会第 6 回は、3 月 12 日（火）午後 2 時より中央公民館にて開催を予定する。